

山口大学・グローバル環境防災学研究会主催 ～平成29年7月九州北部豪雨災害調査報告会～

開催案内

○シンポジウムの開催趣旨

平成29年7月5日に発生した九州北部豪雨では記録的な大雨により、甚大な被害が発生しました。山口大学・グローバル環境・防災学研究会では平成29年7月21日に速報会を開催するとともに、その後も調査・調査研究を実施してきました。本報告会では、研究会メンバー及び土木学会、地盤工学会の調査団のメンバーから災害調査の報告をいただき、今後の豪雨災害に対する防災・減災対策について討議します。

参加無料

〈日時〉平成30年4月5日(木)

13:00～17:00 (受付12:20～)

〈会場〉山口大学 工学部 D11 講義室

〒755-8611 山口県宇部市常盤台2-16-1

●プログラム

12:20～ 受付開始

-----司会：赤松 良久 -----

13:00～13:10 開会挨拶

13:10～13:40 2017年7月5日に発生した九州北部豪雨の特徴と農業被害の概要
山本 晴彦（山口大学大学院創成科学研究科・教授）

13:40～14:10 九州北部豪雨における流木災害の実態と流木発生要因の分析
矢野 真一郎（九州大学大学院工学研究院環境社会部門・教授）

14:10～14:40 崩壊斜面の形状分析と深層風化斜面の物理特性
笠間 清伸（九州大学大学院工学研究院社会基盤部門・准教授）

--休憩（14:40～15:00）--

15:00～15:30 土砂災害の特徴・発生傾向と土砂災害発生履歴について
鈴木 素之（山口大学大学院創成科学研究科・教授）

15:30～16:00 H29年九州北部豪雨災害から見た豪雨及び水・土砂災害予測と避難行動の課題
二瓶 泰雄（東京理科大学理工学部・教授）

16:00～16:30 被災経験・地域の備えとその支援
神谷 大介（琉球大学工学部・准教授）

16:30～16:50 総合討議

16:50～17:00 閉会挨拶

主催：山口大学・グローバル環境防災学研究会

後援：土木学会中国支部，山口大学応用衛星リモートセンシング研究センター

会場へのアクセス

会場：山口大学工学部 D11 講義室
 山口県宇部市常盤台 2-16-1

- ・ 宇部空港からタクシーで 10 分
- ・ JR 宇部新川駅からタクシーで 15 分
- ・ JR 宇部新川駅から宇部市営バスで 15 分



キャンパスマップ

参加申込・問い合わせ

- 添付の申込書に必要事項を記入し、件名を「平成 29 年 7 月九州北部豪雨災害の調査報告会参加申し込み」と明記の上、下記までメールにてお申し込み下さい。
- 同等内容の FAX でも受け付けます。

・ 申し込み先

〒755-8611 山口県宇部市常盤台 2-16-1 山口大学工学部 (担当：石橋)
 E-mail: maho.i@yamaguchi-u.ac.jp
 TEL:0836-85-9339 FAX:0836-85-9301

※ 申込締切は 平成 30 年 3 月 30 日(金)まで

CPD 認定 3.7 単位
 ・土木学会
 [番号:JSCE18-0106]



※CPD申請書・受講証明書について

必要な方は、CPD受講証明書を発行いたします。

参加申込書 (FAX 宛先:0836-85-9301)

所 属			
ご 連 絡 先	〒	—	住所
	TEL.	FAX.	E-mail

参加者氏名	備考

--	--	--